

「学校・家庭・地域連携協力推進事業」(学校を核とした地域力強化プラン)

地域における家庭教育支援基盤構築事業の取組事例

「元気わくやふれあい町づくり事業」(家庭教育支援) (宮城県涌谷町)

取組の概要や経緯

平成22年9月に元気わくやふれあい町づくりサポートセンターを立ち上げ、学校支援本部事業のほか、家庭教育支援事業も同時に開始した。

涌谷町家庭教育支援チームはその当時すでに活躍していた2つの子育て支援サークルにご協力いただき活動を開始し、現在は2つの子育てサークルのメンバーのほかに、子育て経験者や子育て支援サポーターなど、興味関心のある地域の方にもご協力いただき活動を継続している。

内容

子育て支援サポーターリーダーを中心に、“参加型ワークショップ形式プログラム”「宮城県版親の学びのプログラム『親のみちしるべ』～十人十色の子育て&親育ち」を幼稚園等に出向き、保護者対象に行っている。

また、小学校から依頼を受け、学校支援事業の一環として、読み聞かせを行っている。

ポイント

- ・町内幼稚園等に「宮城県版親の学びのプログラム『親のみちしるべ』～十人十色の子育て&親育ち」事業を提供し、保護者の皆さんと一緒に子育ての悩みや日ごろの思いを共有し、さまざまな「気づき」に出会えるよう支援する。
- ・チーム員のスキルアップを図るため研修会を行う。

成果

令和5年度は、宮城県北部教育事務所主幹事業『「学ぶ土台づくり」親の学び研修会』が涌谷町立涌谷南幼稚園において開催され、涌谷町家庭教育支援チーム員が主となり進めることができた。

涌谷町家庭教育支援チーム員会議・研修会を開き、スキルアップを図るとともに、チーム員が各々活動している子育て支援関係団体の情報交換を行い、涌谷町内の子育てや家庭教育に関する理解と推進につとめた。



今後の方向性

- ・家庭教育支援について、幼稚園等に出向き「親の学び」の機会を提供する。
- ・研修会を開催し、チーム員のスキルアップを図るとともに、地域人材の育成、発掘に努め、また保護者にも参加を促し、家庭教育の推進を図る。
- ・『できる支援をできるときに、できることから』を合言葉に地域住民の協力をもらいながら、よりよい協働教育の推進を図る。
- ・子育てサポーターリーダーやサポーターの育成に努める。